

Futaba Town
双葉町
内水ハザードマップ
集中豪雨(ゲリラ豪雨)の場合

想定条件
1時間で120mmの降雨
(想定最大規模降雨)

防災関係機関

名称	電話番号
双葉町役場(代表)	0240-33-2111

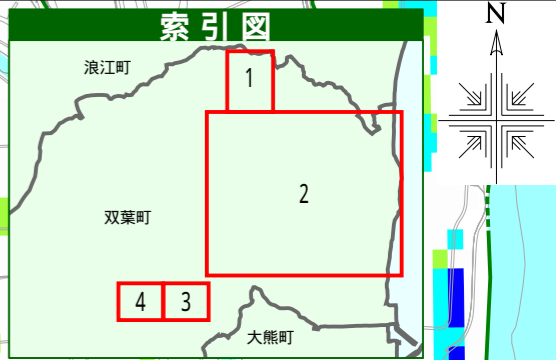
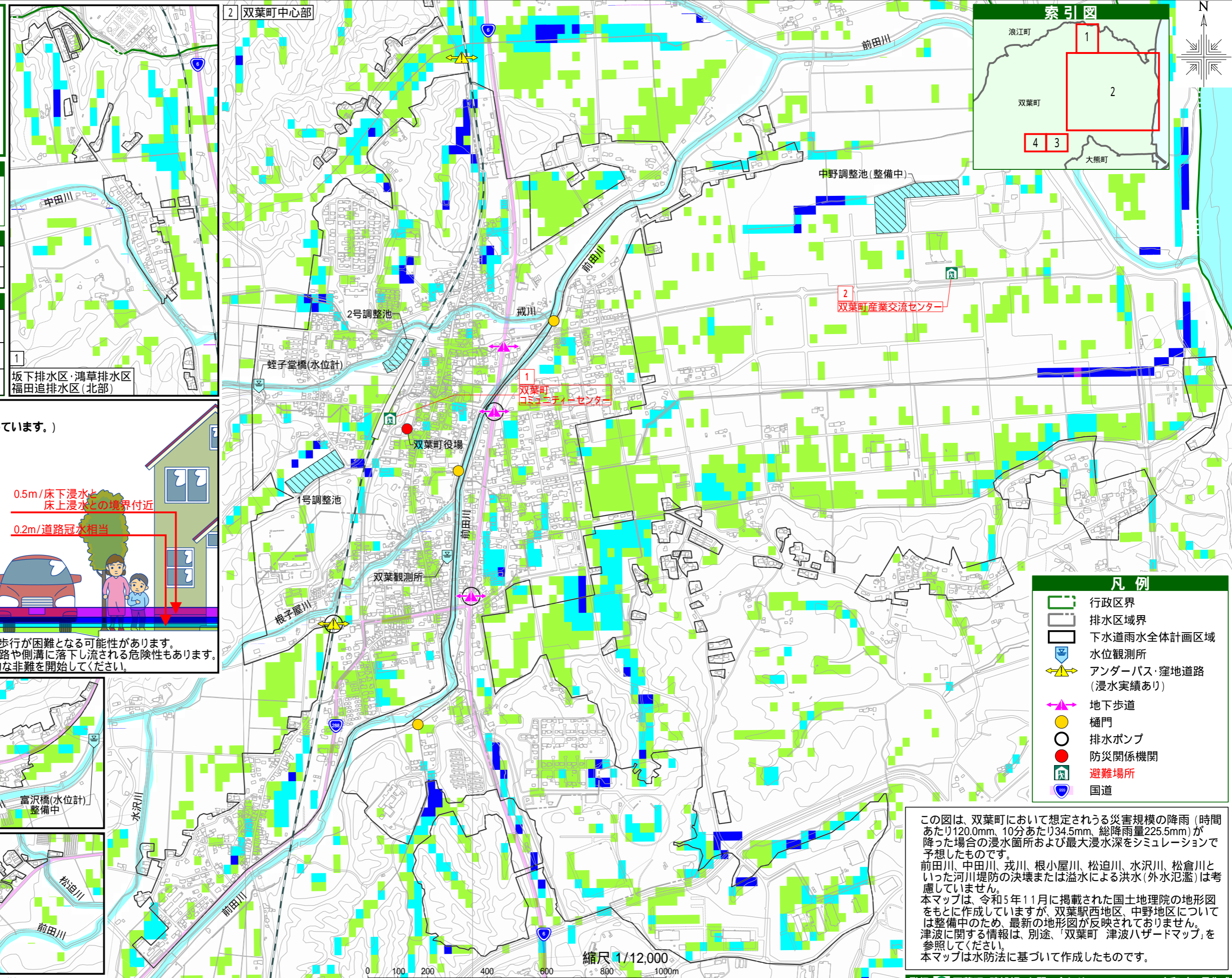
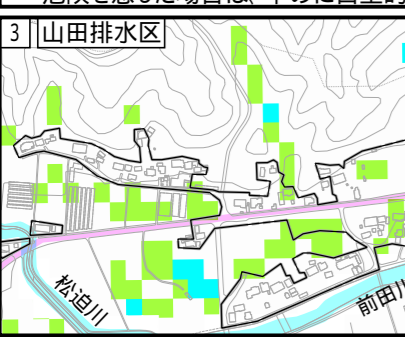
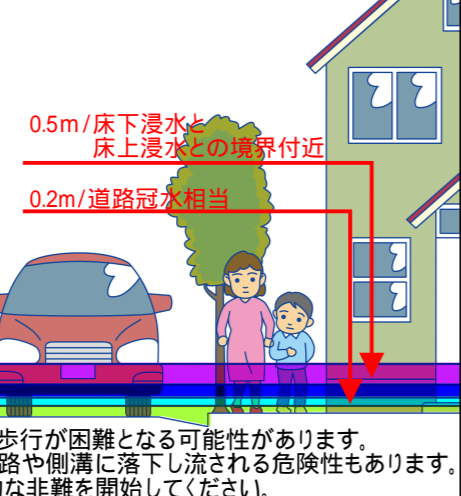
避難場所一覧

番号	施設名(住所)
1	双葉町コミュニティセンター(大字長塚字町西39-22)
2	双葉町産業交流センター(大字中野字高田1-1)

想定浸水深の目安
(この地図では浸水の深さを4色で表しています。)

浸水シミュレーション

0.00 ~ 0.05	道路冠水
0.05 ~ 0.10	道路冠水
0.10 ~ 0.20	道路冠水
0.20 ~ 0.50	床上浸水
>=0.50	床上浸水



- 凡例
- 行政区界
 - 排水区域界
 - 下水道雨水全体計画区域
 - 水位観測所
 - アンダーパス・窪地道路(浸水実績あり)
 - 地下歩道
 - 樋門
 - 排水ポンプ
 - 防災関係機関
 - 避難場所
 - 国道

この図は、双葉町において想定される災害規模の降雨(時間あたり120.0mm、10分あたり34.5mm、総降雨量225.5mm)が降った場合の浸水箇所および最大浸水深をシミュレーションで予想したものです。前田川、中田川、戒川、根小屋川、松迫川、水沢川、松倉川といった河川堤防の決壊または溢水による洪水(外水氾濫)は考慮していません。本マップは、令和5年11月に掲載された国土地理院の地形図をもとに作成していますが、双葉町西地区、中野地区については整備中のため、最新の地形図が反映されておりません。津波に関する情報は、別途「双葉町 津波ハザードマップ」を参照してください。本マップは水防法に基づいて作成したものです。

内水氾濫と外水氾濫の違い

内水ハザードマップとは、「内水氾濫」によって浸水が発生した場合を想定したものです。以下に、「内水氾濫」と「外水氾濫」の違いを解説します。



内水氾濫

道路側溝や水路の排水能力を超える雨水に対して、川への排水が間に合わず、マンホールや雨水ます、排水路などからあふれ出すことで発生する浸水です。

外水氾濫と異なり、浸水までの時間が短く、警報を出すなどの判断・対応が難しいため、注意が必要です。本マップを活用し、以下についてご確認ください。

- ①浸水想定区域と浸水深さ
- ②避難場所
- ③避難ルート
- ④日常の備え
- ⑤避難情報の入手方法
- ⑥避難の考え方



外水氾濫

大雨によって河川水位が上昇し、堤防を越える、または堤防が決壊して河川の水があふれ出すことで発生する浸水です。

外水氾濫が起きた場合、短時間で一気に水かさが増し、大規模な被害を引き起こします。

外水氾濫による浸水シミュレーションを示したマップを、「洪水ハザードマップ」と言います。

避難情報について

それぞれの警戒レベルと取るべき行動を確認し、**早めの避難行動の判断**に役立ててください。避難勧告等が発令されていなくても、防災気象情報を基に**自主避難の判断**をしてください。警戒レベル5は既に災害が発生し避難できない状況が予想されるため、**警戒レベル3**や**警戒レベル4**の段階で避難することが重要です*1。

警戒レベル	防災気象情報	町の避難情報	住民が取るべき行動
5	大雨特別警報	緊急安全確保*2	命の危険 直ちに安全確保
..... 警戒レベル4までに必ず避難すること			
4	土砂災害警戒情報	避難指示	危険な場所から 全員避難してください
3	大雨警報 洪水警報	高齢者等避難*3	危険な場所から高齢者や障がい者、乳幼児等とその支援者は避難
2	大雨注意報 洪水注意報		避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認しましょう
1	早期注意情報		災害への心構えをたかめましょう

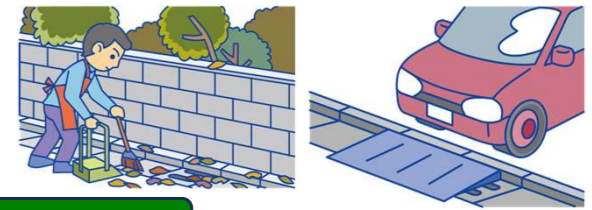
*1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
*2 市町村が災害発生状況を確実に把握できない場合もあるため、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
*3 高齢者以外の方も必要に応じ、避難の準備を整えたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

日常の備えについて

雨水ます等の点検・清掃

側溝や雨水ますの集水口に泥や落ち葉、ゴミが詰まると、内水氾濫の原因となってしまいます。

側溝や雨水ますの定期的な清掃や、上に出来るだけ物を置かないなど、皆様のご協力をお願いします。



ご家庭でできる浸水対策(例)

ご家庭にあるものを使って浸水を防ぐ方法の一例です。ごく浅い浸水(10cm程度)であれば被害を軽減出来ます。

●簡易水のう(ごみ袋Ver)



段ボールに入れると持ち運びが便利かつ、そのまま並べて利用も出来ます。

45リットル程度の容量のごみ袋を二重にし、半分程度の水を入れて簡易水のうを作ります。

●簡易水のう・土のう(ポリタンク又はプランターVer)



水を入れたポリタンク又は土を入れたプランターを並べ、レジャーシートで包んで簡易水のう・土のうを作ります。

非常時持ち出し品(例)



- 貴重品 懐中電灯 救急医療品 携帯ラジオ
- 非常食品等 ウェットティッシュ カッパ
- 衣類(下着・上着) タオル 紙おむつ
- 生理用品 ヘルメット ビニール袋 ライター
- 水筒 紙皿・紙コップ 手袋 缶切り・栓抜き

情報の入手方法について

下記に示す方法等によって、双葉町における災害状況や避難に関する情報収集をお願いします。

●防災行政無線

町内の屋外スピーカーから、警戒情報や災害情報、避難に関する情報などをお知らせします。

●テレビ

リモコンの「データ放送(dボタン)」を押すと、災害時の気象情報や避難情報などを確認できます。

●ラジオ

NHK FM 福島 周波数…FM83.8MHz

インターネットやアプリ

●双葉町公式ホームページ

<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>



●ふたばアプリ



QRコード
Android



QRコード
iOS



●気象庁ホームページ ※気象情報

<https://www.jma.go.jp/jp/yoho/>

●国土交通省「川の防災情報」 ※河川情報

<https://www.river.go.jp/>

●福島県「河川流域総合情報システム」 ※河川情報

<https://kaseninf.pref.fukushima.jp/>

避難の考え方について

災害の発生状況や避難するタイミングに応じて、適切な避難行動が重要です。

●屋外が安全で移動できる場合

避難所、警戒区域外の安全な場所(公園、親戚や友人の家など)へ**水平避難**をしましょう。



●屋外へ出ることが危険な場合

2階以上への移動するなど、建物内の安全な場所へ**垂直避難**をしましょう。

